

武雄市議会だより 栄八通信

第 31 号

147 10 月末発行



武雄市議会議員
宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

新武雄市の 1年間の評価と望み

新武雄市、樋渡市政については、武雄市や本人の知名度アップに頑張られ成功していると思う。

しかし、観光客を増やして、その税収増を、子育てや福祉に活用するとして、税金や職員をどんどん投入して行く方針には、現時点ではあまり賛成できない。

それは、国は、地方分権や財源移譲と言っているが、具体的には変化はない。結局、基準財政需用額と言って、その自治体の維持をするに必要な金額を、国が算定し、市税で独自に集めたあとの不足額を地方交付税で補うしくみになっ

ていて、市税収入を上げて、地方交付税が逆に削減されるだけで、市長の言う、市税増分を子育て等に直接当てることはできない。逆に人件費や宣伝費が増大し、他の予算が圧迫される事も考えられる。

たとえば、大型企業が進出する伊万里市のH18年度予算は、市税51億円に、地方交付税は53億円など総額175億円だが、武雄市は市税47億円に、地方交付税66億円の総額185億円と多い予算だ。

また、市長は、知名度のない所に企業進出はないとの話だが、多久市は、武雄市よりも知名度は低いと思うが、企業進出は多い、その理由は、誘致の為の用地確保や



再検討が必要な4WD市長車

まず、市長と、2副市長の明確な事業別の責任分担をし、3倍前進を

また、市長が、成人式の会場でおめでとうより先に、がばいのPRや視聴率アップの協力要請は

は、市・県の補助金は予定どおりだが、協賛金は、なんと驚くことに2倍以上の約1、600万円も集まっている。

また、公費を支出した宿泊代だが、スタッフの宿泊が、一部の旅館に片寄っていたとの話も聞く。

また、撮影の中に、武雄と判る名称は出て来ず、全国に放映されるとは言え、どれだけの認知がされるのか疑問でした。

ただ、1回は、試しに、やって見るのは良いと思い、また、市からの1、500万円の費用負担も、やむおえない金額と判断し、予算にも賛成し、Tシャツ購入や、実行委員会の賛助会費を払うなど、最低限の協力はさせてもらった。

また、前回は、議員の中でも言われていたのが、ロケ補助金を一般会計でなく、観光基金から支出する案で、この基金は、保養村の源泉から宿泊施設に売った温泉の利益の一部を積み立てたもので、料金を高い水道料に合せている為に毎年利益が出ている。この一部

を観光目的に利用する事になっている。

がばい ばあちゃん 第2弾に むけて

テレビドラマ、佐賀のかばいばあちゃんによる、武雄市のPRに武雄市が取り組んでから約1年がたとうとしている。

私がこの話で、最初に思ったのは、島田さんの実住に住んでいた佐賀周辺で撮影した方が実体にも近いし、関係者も多いと思いい、金の力で、何か横取りしているように、気が引けていました。

また、撮影の中に、武雄と判る名称は出て来ず、全国に放映されるとは言え、どれだけの認知がされるのか疑問でした。

また、公費を支出した宿泊代だが、スタッフの宿泊が、一部の旅館に片寄っていたとの話も聞く。

一方、私が成果があったと思うのは、行政と市民の共通話題ができたことと、子供が、市の事業に参加する場が生れた事などがある。

ただ、この協賛金集めの問題点への指摘もある。第1番目に企業協賛金に関して、市の指名業者等へ市幹部が、協賛のお願いに行き、また、市内業者も、数十万の協賛金をした所もある。見方によれば、一種の圧力による協賛、逆に言えば、当然協賛額に対する見返り意識も生まれ貸し借り関係による癒着的側面が生じる心配もある。

一方、実行委員のあり方としても、補助を出す人と受ける人が同じでない方が良いと思うし、協賛の依頼や集金は、実行委員の方で行ない、行政職員が代行するのは止めるべきだと思う。区協賛も、割当的でない、本来の市民協賛にした方が良いとも考える。

収 入		支 出	
予 算	決 算	予 算	決 算
市補助金	1,500万円	1,500万円	1,083万円
県補助金	—	530万円	597万円
協賛金(企業・団体)	600万円	100万円	157万円
諸収入	100万円	70万円	1,062万円
合 計	2,200万円	2,200万円	2,900万円 残(678万円)

特集

行政問題審議会の傍聴
レポートと私の意見

当、審議会は、市長の具約の、水道料金や固定資産税等の引き下げの審議会で、公募を含む15人で、5月より毎月1回開催されている。市長は、ケーブルテレビに入ってもらって公開するとの答弁だが、市民に十分に認知されているかは疑問。

そこで、私が、傍聴しポイントを解りやすく伝えたい。

また、当審議会は、5月水道料金問題からスタートしたが、12月に公共下水道の一部共用が開始されるため9月議会で料金決定が必要なることから、急遽、当審議会の案件に追加し、6・7・8月集中的に審議する模様です。また、当審議会に、市民病院のあり方についても、諮問する方針とのこと。

水道料金値下げ

水道事業は給水人口と、一日最大給水量という経営目標を定める。旧市町の、給水人口の目標の合計は、61、260人になるが、今回新市では、52、360人と削減。また、一日最大給水量も、旧市町合計、33、680tから、新市では23、480tに、減らしている。

一方、旧武雄市の一日最大給水量の目標が、22、660tだったもので、単純に見れば、旧山内、旧北方の計画分ぐらひは不要と言うことになる。

【施設利用計画】当面更新停止

そこで、施設の統廃合を考えなければならぬが、それより逆に旧武雄市で計画されていた洲ノ尾浄水場の電機関係や監視関係の、23億円の改修が、旧市で進めて来たとして合併後の十分な調整もな

く着手されるのではないかと心配があった。

ただ、現在の水道部長は、北方時代に、西部広水受水時に、北方の3つの浄水場を休止するなど、すばやい対応をされていて、経営感覚には信頼をおいていたが、新市になれば、また、色々条件が発生し、それも行かないかもとの不安も。

結局、施設計画としては、これまでの借入金返済が、ここ10年ピークを向えるとして、特に大きな投資はしないとしている。

一方、問題の洲ノ尾浄水場改修については、電機関係分の約10億円を、5年後のH25年に計画してある。私の理想から言えば、この分ははずして欲しかったが、5年後であれば、旧武雄市以外の市民の方にも、本当に再整備が必要なのかを考えていただく時間や次の選挙もあり、そこで市民の選択にゆだねられるとの点では、評価している。

【料金値下げ】積立金取崩しで

そこで、当面、再投資が、料金にはね返ることはなくなった。次に、どうやって、料金を下げることか、資料を見ると、要は、旧武雄市で、保有していた利益積立金、16億円を一部取りくずして料金を下げる案だった。私は、市長の具約にあったので、市長の経営の改革や新しいアイデアで、値下げがされると思っていたので、がっかり。

以前、武雄市では、水道事業の民営化など数年前から論議していたので、それがいくらかでも計画されているかと思っていたが残念。値下げ案の具体的内容を伝えると、基本料金10㎡までは、一番低い北方町の1、700円に合わせ、超過料金を1㎡当り、290円・

300円・310円とする、3種類の提案が出され、審議会に選んでもらうような形になっている。

内容は10年間で、約16億円の積立金から、いくらか補填するかで、

①290円の場合、約5億4千万円補填し、残は約10億9千万円

②300円の場合、約2億8千万円補填し、残は約13億5千万円

③310円の場合、約1億円を補填して、約15億4千万円を残す。

私の意見とすれば、この16億円の利益積立金を、市民に還元するのなら、全部又は、半分程度は最低返すべきと思っている。その理由として、この積立ができた理由は、

旧武雄市が、H13年度に西部広水から受水する前に、㎡単価が約150円で水道料金が急激に上がるのを防ぐためと、国の高料金対策交付金1.3億円が、廃止されるなどの市の説明を受けて、10年ぐら以前に約10%の値上げをして、新間にも取り上げられた。

しかし、実際には、高料金の交付金は続き、また西部広水の受水単価は、現在84円まで下がっている。

だから、この利益積立金に積まれた金は、間違った想定によるもので、これが10年で積立できたものなら、逆に10年で還元しなければ見方によっては、サギに合ったようなものである。

だから、一般質問で、①290円の案でも、1/2程度の還元しかないの、1/2や全額の案も審議会に追加提案して欲しいと問うたが、市長は、「バナナの叩き売りでない」と、訳の解らない返答で、真の議論はできず残念だった。

また、副市長は、積立金の残10億程度は施設の更新に使用する考えを審議会に説明したとの発言だが、それは法律に違反している。もともと、数億円に積み上がった時点や高料金対策交付金が続いた時、値下や積立金の返還を市に

求めなかったのは、公営企業法の第32条の4に、利益積立金は、欠損金（赤字）をうめる以外、使用できないと定めてあるので、他に使われないと言う事から、積立金を容認していた。しかし、これを別に費用に当てるならば、法律違反で、了承できない。

部長は、水道会計が、破綻した時には、武雄市の水道事業として積立金の種別を言っておれないと究極の場合を言われるが、現在はそうでなく、県内一の積立金を有していて、理由にならない。

もし、更新の為に本当に金が必要なら建設目的積立金を、H18年度の決算から、さっそく実施して、それで更新を法にしたがってすべきだ。

だから、10億円以上の利益積立金を還元しない理由に、施設の更新費用を上げるのは筋違いである。また、①②③案についても、多

久市は、西部広水の単価が84円に減ったとして、利益積立金は0円なのに、②案と同じ、㎡3000円に、今7月から値下げを実施している。赤字だが市民と苦勞を分かち合うと言う。だから、新武雄市も、もっと市民の方を見て、最低、間違いの想定による積立金は一度返して、一から出直しても良いのではと思う。

下水道料金統一

審議会に出された資料3部を、私が、ポイントを、要約して、お伝えします。多くの試算を順をおって書くとは複雑なので結論から逆にその理由を記して行きます。

【加入金】15万円か？

正式には、受益者負担金と言うが、要は、下水道を利用する時に最初に一回のみ払う金。今回、市が、提案した金額は、一戸（一マス）当り、15万円である。この15万円は、現在武雄市の農

業集排水事業の加入金と同額で今回の公共下水道と農排の統一ができる形となっている。

そこで、公共下水道加入金が15万円になる計算の理由として、全国的には、総事業費の5%を受益者に負担を求めている所が多い。

下水道計画区域185haの建設総事業費、70億円の5%は、3億5千万円程度になり、受益対象件数2、200件で割ると約15万円程度になる。現在の農排と同額で良いのではとの案の根拠です。

※問題点として、では、逆に農排の総事業費の5%の戸数割りが15万円になるかの試算がないことや、全国的には、公共下水道の場合、所有する土地面積によって増額する方法を取っていて、今回の提案では、市役所本庁も、一般家庭も同額と言う矛盾点もある。

ただし、私が問題点を書いたのは、提案に反対と言うことではなく、そんな課題も合せて、市民の方に知っていただきたいからです。

【使用料金】月3、000円か？月4、500円か？

月々の使用料金として、最終結論的な提案はされていません。ただ、しほり込みとしての考え方は、管理運営費を負担してもらうとの方針で、2つの方法を示してあります。

I、資本費＋維持管理費の月当りの原価が㎡当り414円と試算。II、維持管理費のみを、負担してもらうと㎡当り240円と試算。

具体的にこれを、月20㎡利用したとすると、I案では、月額料金8、280円となり、全国一の新潟県佐渡市の4、830円の、はるか上で、これを選択するのは無理と思われる。

IIの案では、20㎡で、月負担が、4、800円になり、佐渡市より低いものの、県内最高の3、570円より千円以上高いし、近隣の市と比較すると、伊万里市2、6

60円・多久市・鹿島市は共に2、362円と半分程度となっている、そこをどの程度が良いのか、審議会に協議してもらおう方針らしい。

一方、現在審議会にまだ提案はないが、公共下水道料金の設定と同時に、農排との統一問題もあり、また、その農排使用料金も旧市町で違っている。

現在、○人頭割りを取る、山内町は、基本料金一戸1、000円に、人数一人当り、600円で、同じく旧武雄市は、800円。三人世帯で、計算して見ると、旧山内町は月額2、800円で、旧武雄市は、月額3、200円となっている。○流量制を取る、旧北方町は、㎡当り、7tまで900円の基本料金があり、超過分は、㎡当り140円で、三人家庭に相当するとされる20㎡では、2、720円程度。

今回、使用料金の一本化をする、公共下水道での店舗などの商業では、人頭割りの計算が複雑なため水道使用を元にした、流量制にしなければ難しい。一方、公共下水道での維持費計算の平均㎡当り単価の240円に対し、農業集排水事業の維持費の分を試算すると㎡当り230円と似た数値になっている。

要は、県内他市並の月額3、000円程度にするか？維持費がかかった分の月額4、500円程度を受益者に負担してもらおうかの判断が、最大のポイントです。

問題点は今後の水洗化

他方、旧武雄市・旧北方町は、汚水の水洗化が進んでおらず今のペースで整備すると、100年以上かかります。早期の拡大を市に求めると、維持管理費が今後かかるとして、整備が妥安値な市設置型の浄化増整備さえ二の足をふんでいる。だからこの使用料金問題は、今後の整備問題とも関係している、重大な問題です。

私の質問と市の答弁

1 行政問題専門審議会 の今後と問題点

(別記)

2 ショッピングセンター での行政窓口サービス 実施

武雄市役所は、住民票など市民サービスフロアが、2階にあり高齢化社会に対応していない。

市長は、就任当初、市役所1階に窓口業務を集めて、市民の利便を測る主旨の発言をされ、期待していた。ただ、私も数年前に、同様の提案をしたが、市からは、1階中央に機械室があり、多額の費用がかかるとの返答があり、樋渡市長がどう解決するか注目していた。やはり、結局、話は進まず、変りに、ショッピングセンターでの窓口サービスが提案され、私としては、さらに良い案と思うが、なにより実施が重要で、いつ頃の開設になるのか？

【国井くらし部長】
現在、場所等について検討中。

3 武雄の特産物として レモングラスに飼料 イネも

(別記)

4 男女共同参画推進と 女性管理職の拡大

市長は具約で、男女共同参画の推進をにかけてある。

そこで、市長が、直接的に、この問題に、行動できる課題として市職員の人事がある。

H19年度は、名実共に、樋渡市長の考えが予算や人事に発揮できると思われる。そこで、以前の古庄市長時代の管理職課長等の女性2名から、最低1名程度は増加するものと前進を期待していたが変化なく停滞している。理由は？

【樋渡市長】
管理職は、本人の意欲や能力で決めている、男女で区別していない。

(コメント) そこで、女性管理職2名より増えないのは、市女性職員が、能力がないのか？、入所の時は、同じ試験を受けて合格し、差が出るのは、市の人材育成に問題があるのでは……との発言の途中、議事進行(異議)で、議会がストップした。市長は、女性職員が、能力がないとは言っていない。とのクレーム。ただ、どんなに考えても、管理職を選んだ理由が、能力なら、選ばれなかったのは、能力がないとしか判断できず、その能力を伸す方法を考えるのは当然との思いはある。

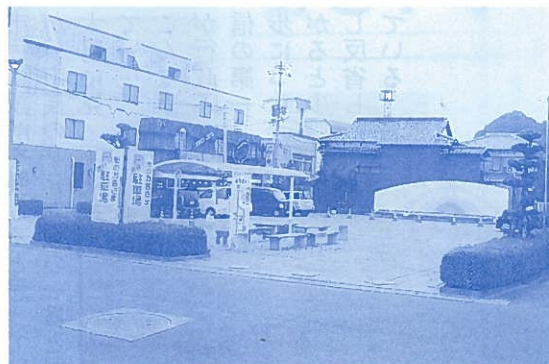
ただ、私としては、言った、言わぬが問題でなく、女性登用の一歩でもの前進なので、一応発言を取消して、方向を変えて、女性にも、やらせるチャレンジの場を作ったのは質問に変えたが、市長はズバリ、「私は、やらせると言ううのは反対である」主旨の発言。

5 地域振興交付金事業 実施の方針

(別記)

6 子育て支援策、公園の 整備とチャイルドシート 貸出し

(一部別記)



無料駐車場化、する→しない→するへ、さぎの森

7 都市計画の用途見直し(北方中央線・東部)	市	来年見直し着手
8 駐車場の確保 (温泉街・市役所・文化会館)	の	さぎの森は無料駐車場へ、他は現状でゆく
9 松原交差点の信号機設置	回	来春設置を予定
10 西部広域ゴミ処理場の武雄市への誘致	答	誘致する気はない
11 現業職の一般職員化を	要旨	以前2回実施して問題はないが、現在は考えてない

レモングラスの動き

市長は、農業に後継者が必要で、その為には、もうかる農業にしなければならぬ。その実現には、高付加価値のある作物の生産が必要として、原価20円で、販売価格が千円程度になるとしてハーブの一種の、レモングラスを武雄市の特産物としよう。

H19年度、当初予算では、15万円と小額で、国産の苗300株を朝日町中野に植えて今7月に一部初収穫がされた。現在乾燥施設が無く、随時刈取るらしい。また、国内の苗は一株300円と市長の言う20円ではなかったが、20円はタイ国での価格との修正が議会であった。

5月から、レモングラス係を新設し、5人の職員が担当する。

一方、今議会の補正予算では、当初の10倍の154万円が組まれ、タイ国のバンコクに、職員2名を派遣し、栽培場と加工場を5日間視察に行った。またタイから、苗4,000株を仕入れたが、外国からの土の国内持込ができない為に、茎から武雄で根を出させて植えることとなる。

この苗は、朝日町に植えるもよるうだが、議会では、市長は、苗の盗難などを考え、定植地は、非公開にするとの発言もあった。

一方、タイからの苗代は、20円でなく、150円に、運賃、関税がかかり、市長もPRはうまいが経営は、どんぶり勘定と思った。

また、日田天領水への、葉の納入予定時期や、収量確保計画について、質問したが、まだ未定とのことだが、やはり、市民が市の融資を借りる時には、事業計画書の提出は必要で、市もそのくらいは作ってもらいたい。

※一方、若木町の川内では、農家が自分で、転作作物として千株を栽培されている。

地域振興交付金とは？

昨年の一般質問の中で、議員から、新市は、廃止や値上げの話ばかりで、夢がないとの指摘がされ、市長から、とっさに出た案が、この交付金ばなしであった。

具体的には、平成元年頃、国から来た、地域振興基金の残りが、約1億2千万円あり、それを、旧武雄市の7町と山内・北方町の、計9町の、街づくり協議会に、交付して、地域自治の確立の為に役立ててもらおうとの、立派な主旨。

一方、武雄町には、当協議会がまだなく、設立の話も、市民にすると「単なる、人気取りのバラまきやろうもん！」そこで、自治確立の為に説明するも「理由は色々あっても結局は同じ！」と反論。

そこで、今議会、地域が一定の役割を負うとの方針なら、毎年一定の予算は付くのかの質問に今回限りとの答えで、市民の目が本物か？

武雄市行革 どうなってる？

H23年度
財政破綻
どうなってる？

新市の初の行革計画に当り、市民等15人による、市民会議が作られ、提言がなされた。

主旨としては、「効率的な行政運営には、基準や数値目標を定め、市民に進行状況等の説明や評価を受け政策に反映すること」としている。

具体的には、☆市民評価制度 ☆合併特例債での新規施設建設は当面しない。☆議員を30から20名への削減 ☆談合の罰則強化などが出ている。その大綱を受けて、「武雄市行政改革プラン」5年間の分を作成し、その具体化を測る。

現在、83項目に渡る課題を、担当各課で、改善するが、ほとんどの項目は、今H19年度に、基本的

武雄市循環型社会計画

要は、新市の、ゴミ処理計画で10年間の目標を立てたもの。

具体的な、数値目標としては、可燃ゴミ・不燃ゴミ・粗大ゴミを各、10年で10%削減を計画。

逆に、リサイクル率は、10%上げるとしている。(H28年度)

ただ、年1%づつ達成するのか等の年次計画は示されていない。

一方、重点施策として、6つを上げてあり、市長の具約にあったプラスチックの分別収集や、エコバック(買物袋)の推進が市民向けて、事業所の古紙や生ゴミの減量化がもう1つの柱のようだ。

しかし、計画期間は、今年度からだが、昨年から議論の、廃プラ回収も未定である。

一方、市長が温泉バックとの共用も提案されたエコバックだが、市が、無料で配ると逆に利用しないとして有料化の模様。

方針を打ち出すスケジュールになっている、その内容に、市民も注目していただきたい。

一方、行革プランの最初に、イラストで、H23年度に財政破たん大きく書いてありびっくり！合併の時の、資料には、合併すれば、収入も支出も、約190億円程度で均衡財政との説明だった。

今議会、なぜ、年10億円も赤字になるかの説明を求める質問があったが、市長は、急な財政状況の変化との説明で、そんなばかな、と思い、調べて見ると、合併当時、新市財政計画を担当していた職員に聞くと、新市計画には、すでに、10年間で、1000人の職員削減を織込んでいたとの話で、逆に、新市財政計画に、行革プランが、追かける形になっていて、ノルマ行革と判明した。

プランでは、5年間で、退職者98人に対し、採用35人で63人減員。

武雄市の公園の いつたい どうなる 将来像が見えない

公園の遊具の整備
や少し増
設し充実
させる

私も小学5年生の子供をもつが、4年になって、少年サッカーに入るまでは、土日等は、2才ぐらいからずっと、公園等に行くのが親子での楽しみ。時には、じいちゃん・ばあちゃんがつれて行くこともあった。また時には、近所の子供も乗せて、行く事もあった。

幼児の頃には、今までは、自分で上まで昇れなかったのが、いつのまにか、自分で、また、よその兄ちゃんをまねて、できるなど、子供の成長を知る場もあった。遠くは、さざんか高原、近くは駅南のSL公園、また旧北方町の四季の丘や旧山内町の中央公園へも何度も出かけて、利用させてもらった。

たぶん、私と同様の気持ちをもつ方が、町規模でも、ある程度の公園を整備している。(旧)武雄市でも、1ヶ所くらいは、1日親子で遊べる公園が、必要と言うことで市の政治課題となっていた。たぶん、樋渡市長も、就任前に市民の声を聞かれたと思う。ところで、旧武雄市では、保養村に、「わんぱく広場」を作り、手づくり遊具など、自然体験型の、トムソーヤの森にふさわしい遊び場を計画されていた。

新市では、その実施予定を質問したが、答弁は、「ハードの整備はしない」との方針に急変した。そこで、現有の公園で、一番人氣のあった、駅南のSL公園だがその中心のジャングジムが、数年前、撤去され人氣が下火になっていて、最低その復元のみでいい問うたが、再設置しない、残存の遊具で遊んで欲しいとの答。

今回は、一步、前進を求めて、新市にもなり、頭を切り替えて、北方町の四季の丘や山内町の中央



いたいの思いからです。

(中央公園) 公園計画一元化が望まれる

武雄温泉駅完成は？

駅の付近に、新武雄温泉駅の完成予想図があり、H20年春オープンと大見出しが付いている。

市民の方から、「あと半年ぐらいで、あの絵の様な建物が作られるとね。」との質問を受けた。

たぶん、多くの市民の方も同じ思いの方も多いと思うので、解説すると、H20年春完成するのは、新幹線が来た時に横に新幹線駅が予定されているとして、金をかけず、地味に作る、駅南口半分のみ。

看板のイメージする、東京駅風の北口については、H20年春の高架切替後、約一年かけて、旧線路を撤去し、その後建設に入りH21年の秋ぐらいの完成を予定している。私も、あの看板については、市民に誤解を受けると思っているが、市長のPR作戦の一貫と思

大目に見ていたが、こんな事が行政不信の第一歩につながると少し反省している。



H20年春は南口のみ

6月補正予算に反対の理由

戊辰戦争展と少年の船の中止

今議会の6月補正予算は、大きな事業もなく、今回は、予算案にすんなり賛成できると考えていたが、最終的には、反対した、その理由を記すと、

◆【戊辰戦争の回顧展の中止問題】

戊辰戦争と言うのは、徳川幕府と、新政府軍の戦いで、武雄に關して言くと、当時西洋科学技術の先端で、大砲等を保有していたことから、東北地方での奥羽戦で、会津など幕府軍の多い中、新政府に付く秋田・佐竹藩の窮地を救うべく、武雄からも遠路秋田まで多くの人が参加し、戦死者も多く、現地秋田の地に名もれず眠る者も多い。

①の費用負担の問題だが、新年度予算で組んでいた戊辰戦争展は、一般会計の図書館費で、今回の、TAIZO展は、観光振興基金を取りくずして繰入れるもので、戊辰戦争と二者拓一の関係でない。

◆【少年の船の予算の変更問題】

当初予算には、小中学生の、韓国海外研修の同行リーダー4人の旅費約28万円と、団員の事前研修費6万円が組まれていた。しかし、市長は、少年の船の事務局から、市が手を引く一方、予算も市長の提案する「少年の遣唐使」という、中国研修旅行に変える様な話で、その理由としての以前、韓国旅行は、貴重な体験だったろうが、今は、一般化していて、現在の中国旅行が、以前の韓国旅行のようなもので、少年の船での韓国訪問は、目的を終えたとの主旨。

その市長の自論について、反論はないが、これも、3月の予算に市長が、少年の船関連予算として提出して議会でも了承されたものであり、あまりにも、勝手に無責任すぎないか？

また、少年の船関係者も、すでに新年度事業に動き出している時に、なぜ、変更し混乱をさせるのかと思ひ、反対し意見を表した。

※これと同じ様なことで、お祭りや産業まつり一本化など急変に市民は混乱している。

私の反対意見としては、

武雄市総合計画 できたが、

市の10年間の政策の方向や内容を計画する。いわゆるマスタープランが、6月議会で承認された。基本理念として、2項目あり、「ユニバーサルデザインのまち」「均衡ある発展」があげてある。要は、生活弱者への配慮や、地域の役割と責任による自治と思う。

市長が、今回、マスタープランを読む、市民は少ないとの判断から、ポイントを絵にして、別刷で「10年後の武雄の未来を描く」を作成されたが、しかし、これは、市民にはなぜか配付しないと言う。読まないから絵にして、作成し配付しないのは、税金のむだでは。一方、内容についての感想は、

感心のある、下水道の整備については、水洗化率を39から59%に上げるとなっているが、それは、単に浄化槽を毎年増すだけの計算で内容の再検討も必要と思う。

制作後記と今後のプラン

最近、このコーナーには、通信の配付状況を書く事が多い。今回も、参院選が、一週間ずれた事から、情報誌の配付網にのせることができず、佐賀新聞を除く、西日本・読売・朝日・毎日新聞での配付になり、市民の方には不便をかけます。佐賀新聞が全体の約半分のシェアをもっているのに、市民の半分しか報告できず選挙公約を達成できず残念です。

必要な方には、電話していただければ、ポストに入れておきます。また、住宅密集地には、新聞と重複しますが、ポスティングし配付率の向上に努力します。

一方、当面の議員活動の課題としては、市設置型の浄化槽整備事業の来年度から着手や、個人設置浄化槽の市管理化に取り組みます。